令和５年度　市民参加手続き事後評価事業一覧

整理番号	事業名等	部課等名	評価結果
1	北広島市総合計画(第６次)の進行管理 北広島市総合計画(第６次) 2024 推進計画の策定	企画部　企画課	適切である
2	令和６年度当初予算の作成	財務部　財政課	適切である
3	地域防災計画及び水防計画の修正	総務部　危機管理課	適切である
4	国民保護計画の修正	総務部　危機管理課	適切である
5	障がい支援計画策定	保健福祉部　福祉課	適切である
6	高齢者保健福祉計画・第９期介護保険事業計画の策定	保健福祉部 高齢者支援課	適切である
7	国民健康保険税条例の一部改正	保健福祉部　保険年金課	適切である
8	国民健康保険第３期データヘルス計画・第４期特定健康診査等実施計画	保健福祉部　保険年金課 健康推進課	適切である
9	北広島市子ども計画の策定（旧：第３期子ども・子育て支援プランの策定）	子育て支援部 子ども家庭課	適切である
10	第４期子どもの権利に関する推進計画の策定	事業９に統合	
11	北広島市営駐車場管理運営事業経営戦略の策定	建設部　土木事務所	適切である
12	学校施設適正規模・適正配置検討事業	教育部　教育総務課	適切である
13	北広島市景観条例の制定及び北広島市景観計画の策定	企画部　都市計画課	適切である

令和５年度（2023 年度）　市民参加実施予定・実施状況評価調書

整理番号	1	事業名	・北広島市総合計画(第６次)の進行管理 ・北広島市総合計画(第６次) 2024 推進計画の策定		
部課名	企画課			対象事業等の区分	(1)市の基本構想、基本計画その他市の基本的な事項を定める計画の策定又は変更

１　事業概要

概　要	北広島市総合計画(第６次)に係る推進計画の策定及び進行管理を実施する。

２　事業に対し実施する市民参加手続き（実施する（した）時期に〇をつけてください。）

実施する市民参加の手法 （実施する手法を☑してください。）	実　施　時　期		
	過年度実施済	当年度	次年度以降
☑ 審議会等		〇	
☐ 市民説明会等			
☑ パブリックコメント		〇	
☐ アンケート調査			
☐ その他（　　）			

実施概要	推進計画とは総合計画で示した施策を具体化し、社会経済情勢の変化や市民ニーズへの対応を図りながら、計画期間内に実施すべき事業を明らかにし、計画的かつ効率的な行財政運営を進めるために毎年度策定するものである。2024 年推進計画の策定にあたり、広く市民の意見を聴取するためパブリックコメントを実施。審議会では、来年度の中間見直しに向けて、北広島市総合計画(第６次)前期５年の進行管理について委員へ説明した。

３　当年度実施する市民参加方法

■審議会等（当該事業に関する審議をした回についてのみ記入してください。）

予　定				結　果				
会議等の名称	北広島市総合計画推進委員会			会議等の名称	北広島市総合計画推進委員会			
開催時期	令和５年 10 月頃			開催時期	令和６年３月 15 日			
開催日	平日	開催時間帯	未定	開催日	平日	開催時間帯	10 時 30 分～	
回数	1～2 回			回数	1 回			
委員人数	５人			委員人数	４人	出席率	100％	
委員構成内訳	公募市民　２人、団体代表者　人 学識経験者　３人、その他　人			委員構成内訳	北広島市総合計画推進委員会設置条例に規定する委員構成により選定 公募市民　１人、団体代表者　人 学識経験者　３人（大学教授、公認会計士） その他　人			
公募の時期	令和３年３月募集済 （任期：令和３年５月～令和６年４月）			公募時期	令和３年３月募集済			
				公募枠	２人	応募者数	８人	結果　２人
公募委員の選考方法	公募市民については、男女比、年齢構成、地域構成、委員の在期年数及び他の審議会等の委員との兼職状況等を考慮して選考する。			公募委員の選考方法	公募市民については、男女比、年齢構成、地域構成、委員の在期年数及び他の審議会等の委員との兼職状況等を考慮して選考する。			
会議の公開	■公開　☐非公開			会議の公開	■公開　☐非公開	傍聴人数	０人	
開催日等周知方法	☐広報　■HP　☐担当課窓口　☐出先機関窓口 ☐ポスター　☐その他（　）			開催日等周知方法	☐広報　■HP　☐担当課窓口　☐出先機関窓口 ☐ポスター　☐その他（　）			
予算内訳	委員報酬　30,000 円　交通費　4,403 円			費用内訳	委員報酬　24,000 円　交通費　4,403 円			

■市民説明会等（該当箇所に☑をしてください。）

予　定				結　果			
開催時期		開催時間帯		開催日		開催時間	
開催内容	□市民説明会　□ワークショップ　□市民フォーラム □その他			開催内容	□市民説明会　□ワークショップ　□市民フォーラム □その他		
回数	回			回数	回		
場所				場所			
参加人数	人			参加人数	人		
対象者				参加内訳			
周知方法	□広報　□HP　□担当課窓口　□出先機関窓口 □ポスター　□その他（対象者に通知）			周知方法	□広報　□HP　□担当課窓口　□出先機関窓口 □ポスター　□その他（　　）		
予算内訳	円			費用内訳			

■パブリックコメント（該当箇所に☑をしてください。）

予　定		結　果	
意見提出時期	令和 5 年 12 月 15 日～令和 6 年 1 月 14 日	意見提出期間	令和 5 年 12 月 15 日～令和 6 年 1 月 15 日
日数	31 日間	日数	31 日間
周知方法	☑広報　☑HP　☑担当課窓口　☑出先機関等行政資料コーナー　□ポスター　□その他（　　）	周知方法	☑広報　☑HP　☑担当課窓口　☑出先機関等行政資料コーナー　□ポスター　□その他（　　）
実施にあたり工夫すること		提出結果	1 件、　1 人
		意見の取り扱い	○意見を反映し、案を修正した ●案は修正しなかった ○その他（感想、案件以外への意見等）
結果の公表時期	令和 6 年 2 月	結果の公表時期	令和 6 年 1 月

■アンケート調査

予　定		結　果	
調査方法		調査方法	
実施時期	令和　年　月～　令和　年　月	実施時期	令和　年　月　日～令和　年　月　日
実施回数	回	実施回数	回
対象者		対象者	
配布数	件	配布数	件
回収数	件（回収率　　%）	回収数	件（回収率　　%）
予算内訳		費用内訳	

■その他

予定		結果	

４　事業実施前の市民参加推進会議の評価、意見を受けての担当課での対応

【市民参加推進会議】	【担当課】
【評価の視点】 ○市民参加の方法、組み合わせ、実施時期 ○市民参加の目的と目標値 ○参加しやすい工夫 ○市民意見の取り扱い ○その他（特記事項） 【評価結果】 ☑適切である　・　□概ね適切である　・　□適切でない	【評価を受けての対応】

５　目的の達成状況（総合評価欄に記入のうえ、該当箇所に☑をして達成状況等を記入してください。）

【総合評価】
北広島市総合計画(第 6 次)に係る推進計画の策定及び進行管理について、広く意見を聴収することができた。

【個別評価（具体的に行った工夫、市民の意見の取り扱いなど)】
■審議会等
北広島市総合計画（第 6 次）前期 5 年の進行管理についてご意見をいただいた。
□市民説明会等

■パブリックコメント
1 名の方から 1 件の意見提出があったが、意見のあった内容については参考とし、計画には反映していない。
□アンケート調査

□その他（　　）

６　市民参加推進会議の事後評価

【評価の視点】
○市民参加の方法、組み合わせ、実施時期
○市民参加の目的と目標値
○参加しやすい工夫
○市民意見の取り扱い
○その他（特記事項）

【評価結果】☑適切である　・　□概ね適切である　・　□適切でない

令和５年度（2023 年度）　市民参加実施予定・実施状況評価調書

整理番号	2	事業名	令和６年度当初予算の作成
部課名	財務部財政課	対象事業等の区分	(12)当初予算の作成

１　事業概要

概　要	令和６年度の予算作成にあたり、各担当部局からの予算要求段階における新規事業（新たに取組もうとする事業など）の内容についてパブリックコメントを実施する。

２　事業に対し実施する市民参加手続き（実施する（した）時期に〇をつけてください。）

実施する市民参加の手法 （実施する手法を☑してください。）	実　施　時　期		
	過年度実施済	当年度	次年度以降
☐ 審議会等			
☐ 市民説明会等			
☑ パブリックコメント		〇	
☐ アンケート調査			
☐ その他（　　）			
実施概要	令和６年度当初予算編成において、新規事業として要求のあった事業を中心に意見等を募集し、予算編成の参考とする。最終的に予算案と、ご意見等に対する市の考えを公表する。		

３　当年度実施する市民参加方法

■審議会等（当該事業に関する審議をした回についてのみ記入してください。）

予　定				結　果					
会議等の名称				会議等の名称					
開催時期				開催時期					
開催日		開催時間帯		開催日		開催時間帯			
回数	回			回数	回				
委員人数				委員人数					
委員構成内訳	公募市民　人　団体代表者　人 学識経験者　人　その他　人			委員構成内訳	公募市民　人　団体代表者　人 学識経験者　人　その他　人				
公募の時期	令和　年　月募集 （任期：R●.●.●～R●.●.●）			公募時期					
				公募枠	人	応募者数	人	結果	人
公募委員の選考方法				公募委員の選考方法					
会議の公開	☐公開　☐非公開			会議の公開	☐公開　☐非公開		傍聴人数	人	
開催日等周知方法	☐広報　☐HP　☐担当課窓口　☐出先機関窓口 ☐ポスター　☐その他（　　）			開催日等周知方法	☐広報　☐HP　☐担当課窓口　☐出先機関窓口 ☐ポスター　☐その他（　　）				
予算内訳	委員報酬　円　交通費　円			費用内訳	委員報酬　円　交通費　円				

■市民説明会等（該当箇所に☑をしてください。）

予　定				結　果			
開催時期		開催時間帯		開催日		開催時間	
開催内容	□市民説明会　□ワークショップ　□市民フォーラム □その他			開催内容	□市民説明会　□ワークショップ　□市民フォーラム □その他		
回数	回			回数	回		
場所				場所			
参加人数	人			参加人数	人		
対象者				参加内訳			
周知方法	□広報　□HP　□担当課窓口　□出先機関窓口 □ポスター　□その他（対象者に通知）			周知方法	□広報　□HP　□担当課窓口　□出先機関窓口 □ポスター　□その他（　　）		
予算内訳	円			費用内訳	円		

■パブリックコメント（該当箇所に☑をしてください。）

予　定		結　果	
意見提出時期	令和５年12月～令和６年１月	意見提出期間	令和５年12月15日～令和６年１月15日
日数		日数	32日間
周知方法	☑広報　☑HP　☑担当課窓口　☑出先機関等行政資料コーナー　□ポスター　□その他（　　）	周知方法	☑広報　☑HP　☑担当課窓口　☑出先機関等行政資料コーナー　□ポスター　□その他（　　）
実施にあたり工夫すること		提出結果	１件、１人
		意見の取り扱い	○意見を反映し、案を修正した ●案は修正しなかった ○その他（感想、案件以外への意見等）
結果の公表時期	令和６年２月	結果の公表時期	令和６年２月

■アンケート調査

予　定		結　果	
調査方法		調査方法	
実施時期	令和　年　月～　令和　年　月	実施時期	令和　年　月　日～令和　年　月　日
実施回数	回	実施回数	回
対象者		対象者	
配布数	件	配布数	件
回収数	件（回収率　　％）	回収数	件（回収率　　％）
予算内訳	円	費用内訳	円

■その他

予定		結果	

４　事業実施前の市民参加推進会議の評価、意見を受けての担当課での対応

【市民参加推進会議】	【担当課】
【評価の視点】 ○市民参加の方法、組み合わせ、実施時期 ○市民参加の目的と目標値 ○参加しやすい工夫 ○市民意見の取り扱い ○その他（特記事項） 【評価結果】 ☑適切である　・　□概ね適切である　・　□適切でない	【評価を受けての対応】

５　目的の達成状況（総合評価欄に記入のうえ、該当箇所に☑をして達成状況等を記入してください。）

【総合評価】
パブリックコメントを実施し、市民に広く意見を求めた結果、１件の意見があった。
検討の結果、案の修正には至らなかったが、今後の予算編成の参考とした。

【個別評価（具体的に行った工夫、市民の意見の取り扱いなど）】
□審議会等

□市民説明会等

☑パブリックコメント
１件の意見があり、検討の結果、案のとおり予算編成を実施した。
□アンケート調査

□その他（　　）

６　市民参加推進会議の事後評価

【評価の視点】
○市民参加の方法、組み合わせ、実施時期
○市民参加の目的と目標値
○参加しやすい工夫
○市民意見の取り扱い
○その他（特記事項）

【評価結果】☑適切である　・　□概ね適切である　・　□適切でない

令和５年度（2023 年度）　市民参加実施予定・実施状況評価調書

整理番号	3	事業名	北広島市地域防災計画及び水防計画の修正
部課名	総務部 防災危機管理室 危機管理課	対象事業等の区分	(1)市の基本構想、基本計画その他市の基本的な事項を定める計画の策定又は変更

１　事業概要

概　要	上位計画である北海道地域防災計画及び水防計画の改正に伴い、北広島市地域防災計画及び水防計画の修正を行います。

２　事業に対し実施する市民参加手続き（実施する（した）時期に〇をつけてください。）

実施する市民参加の手法 （実施する手法を☑してください。）	実　施　時　期		
	過年度実施済	当年度	次年度以降
☑ 審議会等		〇	〇
☐ 市民説明会等			
☑ パブリックコメント	〇	〇	〇
☐ アンケート調査			
☐ その他（　　）			

実施概要	北広島市地域防災計画（災害対策基本法第 42 条の規定に基づき、予防、応急及び復旧等の災害対策を実施するに当たり、市及び防災関係機関が、その機能の全てをあげて市民の生命、身体及び財産を災害等から保護するために必要な事項を定め、本市における防災の万全を期することを目的とする計画）及び水防計画（水防法第 33 条の規定に基づき、本市における水防事務の調整及びその円滑な実施のために必要な事項を規定し、洪水に際し、水災を警戒し、防御し、及びこれによる被害を軽減し、もって公共の安全を保持することを目的とする計画）の修正案について、広く市民の意見を反映させるためにパブリックコメントを実施しました。また、最終的な方針を決定する上で専門的な意見及び市民の意見を反映させるために、審議会等に付議しました。

３　当年度実施する市民参加方法

■審議会等（当該事業に関する審議をした回についてのみ記入してください。）

予　定				結　果					
会議等の名称	北広島市防災会議			会議等の名称	北広島市防災会議				
開催時期	令和５年９月、11 月、令和６年１月			開催時期	令和５年８月				
開催日	平日	開催時間帯	日中	開催日	平日	開催時間帯	日中		
回数	3 回			回数	1 回				
委員人数	28 人			委員人数	28 人	出席率	－		
委員構成内訳	公募市民　　人、団体代表者　28 人 学識経験者　　人、その他　　人			委員構成内訳	災害対策基本法に規定する委員構成により選定 公募市民　　人 団体代表者 28 人(指定地方行政機関、陸上自衛隊等) 学識経験者　　人、その他　　人				
公募の時期	無し			公募時期	無し				
				公募枠	0 人	応募者数	0 人	結果	0 人
公募委員の選考方法				公募委員の選考方法					
会議の公開	☑公開　☐非公開			会議の公開	☑公開　☐非公開		傍聴人数	0 人	
開催日等周知方法	☐広報　☑HP　☐担当課窓口　☐出先機関窓口 ☐ポスター　☐その他（　　）			開催日等周知方法	☐広報　☑HP　☐担当課窓口　☐出先機関窓口 ☐ポスター　☐その他（　　）				
予算内訳	委員報酬　108,000 円　交通費　20,000 円			費用内訳	委員報酬　108,000 円　交通費　20,000 円				

■市民説明会等（該当箇所に☑をしてください。）

予　定				結　果			
開催時期		開催時間帯		開催日		開催時間	
開催内容	□市民説明会　□ワークショップ　□市民フォーラム □その他			開催内容	□市民説明会　□ワークショップ　□市民フォーラム □その他		
回数	回			回数	回		
場所				場所			
参加人数	人			参加人数	人		
対象者				参加内訳			
周知方法	□広報　□HP　□担当課窓口　□出先機関窓口 □ポスター　□その他（対象者に通知）			周知方法	□広報　□HP　□担当課窓口　□出先機関窓口 □ポスター　□その他（　　）		
予算内訳	円			費用内訳	円		

■パブリックコメント（該当箇所に☑をしてください。）

予　定		結　果	
意見提出時期	令和５年７月	意見提出期間	令和５年６月 30 日～令和５年７月 31 日
日数	30 日間	日数	32 日間
周知方法	☑広報　☑HP　☑担当課窓口　☑出先機関等行政資料コーナー　□ポスター　□その他（　　）	周知方法	☑広報　☑HP　☑担当課窓口　☑出先機関等行政資料コーナー　□ポスター　□その他（　　）
実施にあたり工夫すること		提出結果	２件、２人
		意見の取り扱い	●意見を反映し、案を修正した ○案は修正しなかった ○その他（感想、案件以外への意見等）
結果の公表時期	令和５年８月	結果の公表時期	令和５年８月

■アンケート調査

予　定		結　果	
調査方法		調査方法	
実施時期	令和　年　月～　令和　年　月	実施時期	令和　年　月　日～令和　年　月　日
実施回数	回	実施回数	回
対象者		対象者	
配布数	件	配布数	件
回収数	件（回収率　　％）	回収数	件（回収率　　％）
予算内訳	円	費用内訳	円

■その他

予定		結果	

４　事業実施前の市民参加推進会議の評価、意見を受けての担当課での対応

【市民参加推進会議】	【担当課】
【評価の視点】 ○市民参加の方法、組み合わせ、実施時期 ○市民参加の目的と目標値 ○参加しやすい工夫 ○市民意見の取り扱い ○その他（特記事項） 【評価結果】 ☑適切である　・　□概ね適切である　・　□適切でない	【評価を受けての対応】

５　目的の達成状況（総合評価欄に記入のうえ、該当箇所に☑をして達成状況等を記入してください。）

【総合評価】
適切に行われた。

【個別評価（具体的に行った工夫、市民の意見の取り扱いなど）】
☑審議会等
専門的な意見を伺うため、審議を実施した。
□市民説明会等

☑パブリックコメント
市民の意見を反映させ、修正案を校正した。
□アンケート調査

□その他（　　）

６　市民参加推進会議の事後評価

【評価の視点】
○市民参加の方法、組み合わせ、実施時期
○市民参加の目的と目標値
○参加しやすい工夫
○市民意見の取り扱い
○その他（特記事項）

【評価結果】☑適切である　・　□概ね適切である　・　□適切でない

令和５年度（2023 年度）　市民参加実施予定・実施状況評価調書

整理番号	4	事業名	北広島市国民保護計画の修正	
部課名	総務部 防災危機管理室 危機管理課		対象事業等の区分	(1)市の基本構想、基本計画その他市の基本的な事項を定める計画の策定又は変更

１　事業概要

概　要	上位計画である北海道国民保護計画の改正に伴い、北広島市国民保護計画の修正を行います。

２　事業に対し実施する市民参加手続き（実施する（した）時期に〇をつけてください。）

実施する市民参加の手法 （実施する手法を☑してください。）	実　施　時　期		
	過年度実施済	当年度	次年度以降
☑ 審議会等		〇	
☐ 市民説明会等			
☑ パブリックコメント		〇	
☐ アンケート調査			
☐ その他（　　）			

実施概要	北広島市国民保護計画（市の国民保護措置の実施体制、市が実施する避難や救援などの措置に関する事項、平素からの訓練、備蓄及び啓発に関する事項などを定めることにより、武力攻撃事態等において市の国民保護措置を的確かつ円滑に実施できるようにするとともに、市の区域に係る国民保護措置の総合的な推進を図り、もって武力攻撃事態等において、市民の生命、身体及び財産を保護し、武力攻撃による被害を最小限にすることを目的とする計画）の修正案について、広く市民の意見を反映させるためにパブリックコメントを実施しました。また、最終的な方針を決定する上で専門的な意見及び市民の意見を反映させるために、審議会等に付議しました。

３　当年度実施する市民参加方法

■審議会等（当該事業に関する審議をした回についてのみ記入してください。）

予　定				結　果					
会議等の名称	北広島市国民保護協議会			会議等の名称	北広島市国民保護協議会				
開催時期	令和５年９月、11 月、令和６年１月			開催時期	令和５年８月				
開催日	平日	開催時間帯	日中	開催日	平日	開催時間帯	日中		
回数	３回			回数	１回				
委員人数	28 人			委員人数	28 人	出席率	－		
委員構成内訳	公募市民　　人 団体代表者　28 人 学識経験者　　人 その他　　人			委員構成内訳	武力攻撃事態等における国民の保護のための措置に関する法律に規定する委員構成により選定 公募市民　　人 団体代表者 28 人(指定地方行政機関、陸上自衛隊等) 学識経験者　　人、その他　　人				
公募の時期	無し			公募時期	無し				
				公募枠	０人	応募者数	０人	結果	０人
公募委員の選考方法				公募委員の選考方法					
会議の公開	☑公開　☐非公開			会議の公開	☑公開　☐非公開	傍聴人数	人		
開催日等周知方法	☐広報　☑HP　☐担当課窓口　☐出先機関窓口 ☐ポスター　☐その他（　　）			開催日等周知方法	☐広報　☑HP　☐担当課窓口　☐出先機関窓口 ☐ポスター　☐その他（　　）				
予算内訳	委員報酬　108,000 円　交通費　20,000 円			費用内訳	委員報酬　108,000 円　交通費　20,000 円				

■市民説明会等（該当箇所に☑をしてください。）

予　定				結　果			
開催時期		開催時間帯		開催日		開催時間	
開催内容	□市民説明会　□ワークショップ　□市民フォーラム □その他			開催内容	□市民説明会　□ワークショップ　□市民フォーラム □その他		
回数	回			回数	回		
場所				場所			
参加人数	人			参加人数	人		
対象者				参加内訳			
周知方法	□広報　□HP　□担当課窓口　□出先機関窓口 □ポスター　□その他（対象者に通知）			周知方法	□広報　□HP　□担当課窓口　□出先機関窓口 □ポスター　□その他（　　）		
予算内訳	円			費用内訳	円		

■パブリックコメント（該当箇所に☑をしてください。）

予　定		結　果	
意見提出時期	令和５年７月	意見提出期間	令和５年６月 30 日～令和５年７月 31 日
日数	30 日間	日数	32 日間
周知方法	☑広報　☑HP　☑担当課窓口　☑出先機関等行政資料コーナー　□ポスター　□その他（　　）	周知方法	☑広報　☑HP　☑担当課窓口　☑出先機関等行政資料コーナー　□ポスター　□その他（　　）
実施にあたり工夫すること		提出結果	０件、０人
		意見の取り扱い	○意見を反映し、案を修正した ●案は修正しなかった ○その他（感想、案件以外への意見等）
結果の公表時期	令和５年８月	結果の公表時期	令和５年８月

■アンケート調査

予　定		結　果	
調査方法		調査方法	
実施時期	令和　年　月～　令和　年　月	実施時期	令和　年　月　日～令和　年　月　日
実施回数	回	実施回数	回
対象者		対象者	
配布数	件	配布数	件
回収数	件（回収率　　％）	回収数	件（回収率　　％）
予算内訳	円	費用内訳	円

■その他

予定		結果	

４　事業実施前の市民参加推進会議の評価、意見を受けての担当課での対応

【市民参加推進会議】	【担当課】
【評価の視点】 ○市民参加の方法、組み合わせ、実施時期 ○市民参加の目的と目標値 ○参加しやすい工夫 ○市民意見の取り扱い ○その他（特記事項） 【評価結果】 ☑適切である　・　□概ね適切である　・　□適切でない	【評価を受けての対応】

５　目的の達成状況（総合評価欄に記入のうえ、該当箇所に☑をして達成状況等を記入してください。）

【総合評価】
適切に行われた。

【個別評価（具体的に行った工夫、市民の意見の取り扱いなど）】
☑審議会等
専門的な意見を伺うため、審議を実施した。
□市民説明会等

☑パブリックコメント
市民の意見を伺うため、パブリックコメントを実施した。
□アンケート調査

□その他（　　）

６　市民参加推進会議の事後評価

【評価の視点】
○市民参加の方法、組み合わせ、実施時期
○市民参加の目的と目標値
○参加しやすい工夫
○市民意見の取り扱い
○その他（特記事項）

【評価結果】☑適切である　・　□概ね適切である　・　□適切でない

令和５年度（2023 年度）　市民参加実施予定・実施状況評価調書

整理番号	5	事業名	北広島市障がい支援計画策定
部課名	保健福祉部福祉課	対象事業等の区分	(1)市の基本構想、基本計画その他市の基本的な事項を定める計画の策定又は変更

１　事業概要

概　要	現在の北広島市障がい支援計画の期間が令和３年度から令和５年度までとなっていることから、次期北広島市障がい支援計画を策定する。 なお、本計画は障害者基本法に基づく障がい者福祉計画、障害者総合支援法に基づく第７期障がい福祉計画及び児童福祉法に基づく第３期障がい児福祉計画を一体的に策定するものである。

２　事業に対し実施する市民参加手続き（実施する（した）時期に〇をつけてください。）

実施する市民参加の手法 （実施する手法を☑してください。）	実　施　時　期		
	過年度実施済	当年度	次年度以降
☑ 審議会等		〇	
☐ 市民説明会等			
☑ パブリックコメント		〇	
☑ アンケート調査		〇	
☐ その他（　　）			
実施概要	障がい支援計画を策定のための基礎資料として、市民意識や当事者のニーズ等を把握する必要があることからアンケート調査を実施する。また、有識者や関係者、市民等による様々な視点からの意見を反映させるための審議会を開催するとともに計画の推進には様々な団体等との連携協力が必要なことから、関係団体との意見交換を経て計画案を作成し、最後にパブリックコメントを行い広く市民の意見を聞く。		

３　当年度実施する市民参加方法

■審議会等（当該事業に関する審議をした回についてのみ記入してください。）

予　定				結　果				
会議等の名称	保健福祉計画検討委員会・障がい福祉部会			会議等の名称	保健福祉計画検討委員会・障がい福祉部会			
開催時期	令和５年５月～令和６年３月			開催時期	令和５年６月、8～11 月、２月			
開催日	平日	開催時間帯	夜間	開催日	平日	開催時間帯	夜間	
回数	５回程度			回数	６回			
委員人数	８人			委員人数	８人	出席率	100％	
委員構成内訳	公募市民　１人 団体代表者　１人 学識経験者　１人 その他　５人			委員構成内訳	北広島市保健福祉計画検討委員会設置条例に規定する委員構成により選定 公募市民　１人 団体代表　６人（社会福祉、学校、保健医療） 学識経験者　１人（大学教員）、その他　人			
公募の時期	令和５年６月頃 （任期：令和５年８月～令和８年７月）			公募時期	令和５年５～６月募集（任期：令和５年８月１日～令和８年７月 31 日）			
				公募枠	１人	応募者数	１人	結果　１人
公募委員の選考方法	公募市民については、男女比、年齢構成、地域構成、委員の在期年数及び他の審議会等の委員との兼職状況等を考慮して選考する。			公募委員の選考方法	公募市民については、男女比、年齢構成、地域構成、委員の在期年数及び他の審議会等の委員との兼職状況等を考慮して選考する。			
会議の公開	☑公開　☐非公開			会議の公開	☑公開　☐非公開	傍聴人数	２人	
開催日等周知方法	☑広報　☑HP　☐担当課窓口　☐出先機関窓口 ☐ポスター　☐その他（　　）			開催日等周知方法	☑広報　☑HP　☐担当課窓口　☐出先機関窓口 ☐ポスター　☐その他（　　）			
予算内訳	委員報酬　240,000 円　交通費　54,205 円			費用内訳	委員報酬　108,000 円　交通費　16,650 円			

■市民説明会等（該当箇所に☑をしてください。）

予　定				結　果			
開催時期		開催時間帯		開催日		開催時間	
開催内容	□市民説明会　□ワークショップ　□市民フォーラム □その他			開催内容	□市民説明会　□ワークショップ　□市民フォーラム □その他		
回数	回			回数	回		
場所				場所			
参加人数	人			参加人数	人		
対象者				参加内訳			
周知方法	□広報　□HP　□担当課窓口　□出先機関窓口 □ポスター　□その他（対象者に通知）			周知方法	□広報　□HP　□担当課窓口　□出先機関窓口 □ポスター　□その他（　　）		
予算内訳	円			費用内訳	円		

■パブリックコメント（該当箇所に☑をしてください。）

予　定		結　果	
意見提出時期	令和５年 12 月	意見提出期間	令和５年 12 月 20 日～令和６年１月 19 日
日数	30 日間	日数	30 日間
周知方法	☑広報　☑HP　☑担当課窓口　☑出先機関等行政資料コーナー　□ポスター　□その他（　　）	周知方法	☑広報　☑HP　☑担当課窓口　☑出先機関等行政資料コーナー　□ポスター　□その他（　　）
実施にあたり工夫すること		提出結果	０件、　０人
		意見の取り扱い	○意見を反映し、案を修正した ○案は修正しなかった ○その他（感想、案件以外への意見等）
結果の公表時期	令和６年１月	結果の公表時期	令和６年１月

■アンケート調査

予　定		結　果	
調査方法	調査票を郵送で配布回収	調査方法	①市民向け：オンライン回答 ②当事者向け：郵送回答
実施時期	令和５年７月	実施時期	令和５年７月 24 日～令和５年８月 24 日
実施回数	１回	実施回数	各１回
対象者	市民、障がい福祉サービス利用者等市民	対象者	①18 歳以上 65 歳未満の市民 ②市内在住者のうち 65 歳未満で障がい福祉サービス等を利用している児・者及び市内在住の 65 歳未満で障害者手帳所持者のうち障がい福祉サービス等未利用の児・者
配布数	2,000 件	配布数	①696 人　②983 件
回収数	1,200 件（回収率　60%）	回収数	①260 件（回答率 37.4%） ②451 件（回答率 45.9%）
予算内訳	通信費　280,000 円	費用内訳	計画策定業務委託料 3,300,000 円に包含

■その他

予定		結果	

４　事業実施前の市民参加推進会議の評価、意見を受けての担当課での対応

【市民参加推進会議】	【担当課】
【評価の視点】 ○市民参加の方法、組み合わせ、実施時期 ○市民参加の目的と目標値 ○参加しやすい工夫 ○市民意見の取り扱い ○その他（特記事項） 【評価結果】 ☑適切である　・　□概ね適切である　・　□適切でない	【評価を受けての対応】

５　目的の達成状況（総合評価欄に記入のうえ、該当箇所に☑をして達成状況等を記入してください。）

【総合評価】

アンケート調査、保健福祉計画検討委員会・障がい福祉部会、パブリックコメントの様々な方法で市民意見を聞き、市民意見を反映した計画を策定することができた。

【個別評価（具体的に行った工夫、市民の意見の取り扱いなど）】

☑審議会等

計画案の策定にあたり、意見交換を行い、計画案に反映した。

□市民説明会等

☑パブリックコメント

意見の提出はなかった。

☑アンケート調査

市民や障がい福祉サービス利用者等の障がい福祉行政への意識調査を行い、計画案に反映した。

□その他（　　）

６　市民参加推進会議の事後評価

【評価の視点】

○市民参加の方法、組み合わせ、実施時期

○市民参加の目的と目標値

○参加しやすい工夫

○市民意見の取り扱い

○その他（特記事項）

【評価結果】☑適切である　・　□概ね適切である　・　□適切でない

令和５年度（2023 年度）　市民参加実施予定・実施状況評価調書

整理番号	6	事業名	高齢者保健福祉計画・第９期介護保険事業計画の策定
部課名	保健福祉部　高齢者支援課	対象事業等の区分	(1)市の基本構想、基本計画その他市の基本的な事項を定める計画の策定又は変更

１　事業概要

概　要	本計画は、老人福祉法第 20 条の８の規定に基づく「老人福祉計画」として定める高齢者福祉計画と、介護保険法第 117 条の規定に基づく計画として国の基本指針に即して定める介護保険事業計画の２つの計画を一体的に作成し、道が作成する第９期北海道高齢者保健福祉計画・介護保険事業支援計画や、本市の諸計画との整合性を図りながら、高齢者社会に適応した高齢者施策を総合的に推進するための基本的計画として策定するものです。

２　事業に対し実施する市民参加手続き（実施する（した）時期に〇をつけてください。）

実施する市民参加の手法（実施する手法を☑してください。）	実施時期		
	過年度実施済	当年度	次年度以降
☑ 審議会等		〇	
☐ 市民説明会等			
☑ パブリックコメント		〇	
☑ アンケート調査		〇	
☐ その他（　　）			

実施概要	本計画は、高齢者一人ひとりが住み慣れた地域で健康で生き生きと充実した生活を営めるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援が切れ目なく提供される地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組みを深化させるとともに、認知症施策の充実や、高齢者自らが健康の保持・増進や介護予防に努めて生涯現役を目指して活動できるよう、社会参加と自立を促す機会の提供を進めていくことを目的とするものであり、その策定にあたっては、広く市民に周知し、市民の意見や考えを参考に計画を取りまとめる必要がある。 そのため、事業計画作成の基礎資料とするため、要介護者に対するアンケート調査の実施、公募市民を含む「保健福祉計画検討委員会」による審議とともに、幅広い市民から意見を求める「パブリックコメント」といった市民参加手続きを行い策定した。

３　当年度実施する市民参加方法

■審議会等（当該事業に関する審議をした回についてのみ記入してください。）

予　定				結　果				
会議等の名称	北広島市保健福祉計画検討委員会高齢福祉部会			会議等の名称	北広島市保健福祉計画検討委員会高齢福祉部会			
開催時期	令和５年８月、10 月、11 月			開催時期	令和５年８月１日、10 月３日、11 月１日、22 日			
開催日	平日	開催時間帯	夜間	開催日	平日	開催時間帯	夜間	
回数	３回			回数	４回			
委員人数	８人			委員人数	８人	出席率	84.3％	
委員構成内訳	公募市民　１人 団体代表者　６人 学識経験者　１人 その他　　人			委員構成内訳	北広島市保健福祉計画検討委員会設置条例に規定する委員構成により選定 公募市民１人 団体代表６人（福祉ｻｰﾋﾞｽ、保健医療、福祉団体関係） 学識経験 １人（大学）、その他　　人（　　）			
公募の時期	令和５年度５月募集予定 （任期：R5.7～R8.6）			公募時期	令和５年６月 15 日～令和５年６月 30 日			
				公募枠	１人	応募者数	３人	結果　１人
公募委員の選考方法	公募市民については、男女比、年齢構成、地域構成、委員の在期年数及び他の審議会等の委員との兼職状況等を考慮して選考する。			公募委員の選考方法	公募市民については、男女比、年齢構成、地域構成、委員の在期年数及び他の審議会等の委員との兼職状況等を考慮して選考。			

会議の公開	☑公開　□非公開	会議の公開	☑公開　□非公開	傍聴人数	2 人
開催日等 周知方法	☑広報　☑HP　☑担当課窓口　□出先機関窓口 □ポスター　□その他（　　）	開催日等 周知方法	☑広報　☑HP　☑担当課窓口　□出先機関窓口 □ポスター　□その他（　　）		
予算内訳	委員報酬　288,000 円(検討委員会全体会含む) 交通費　　28,416 円(検討委員会全体会含む)	費用内訳	委員報酬　162,000 円 交通費　　14,023 円		

■市民説明会等（該当箇所に☑をしてください。）

予　定				結　果			
開催時期		開催時間帯		開催日		開催時間	
開催内容	□市民説明会　□ワークショップ　□市民フォーラム □その他			開催内容	□市民説明会　□ワークショップ　□市民フォーラム □その他		
回数	回			回数	回		
場所				場所			
参加人数	人			参加人数	人		
対象者				参加内訳			
周知方法	□広報　□HP　□担当課窓口　□出先機関窓口 □ポスター　□その他（対象者に通知）			周知方法	□広報　□HP　□担当課窓口　□出先機関窓口 □ポスター　□その他（　　）		
予算内訳	円			費用内訳	円		

■パブリックコメント（該当箇所に☑をしてください。）

予　定		結　果	
意見提出時期	令和 6 年 1 月 4 日～2 月 2 日	意見提出期間	令和 5 年 12 月 20 日～令和 6 年 1 月 19 日
日数	30 日間	日数	31 日間
周知方法	☑広報　☑HP　☑担当課窓口　☑出先機関等行政資料コーナー　□ポスター　□その他（　　）	周知方法	☑広報　☑HP　☑担当課窓口　☑出先機関等行政資料コーナー　□ポスター　□その他（　　）
実施にあたり工夫すること	対象者に対し、パブリックコメントの実施を通知するなど、意見を出しやすい環境づくりに努める。	提出結果	0 件、　0 人　※意見なし
		意見の取り扱い	○意見を反映し、案を修正した ○案は修正しなかった ○その他（感想、案件以外への意見等）
結果の公表時期	令和 6 年 2 月	結果の公表時期	令和 6 年 1 月

■アンケート調査

予　定		結　果	
調査方法	調査票郵送配布、郵送回収、分析	調査方法	調査票郵送配布、郵送回収、分析
実施時期	令和 5 年 5 月　～　令和 5 年 8 月	実施時期	令和 5 年 6 月　～　令和 5 年 9 月
実施回数	1 回	実施回数	1 回
対象者	要支援・要介護認定を受けている（受けていた）方から 1,000 人を無作為抽出	対象者	要支援・要介護認定を受けている（受けていた）方から 1,000 人を無作為抽出
配布数	1,000 件	配布数	1,000 件
回収数	700 件（回収率　70%）	回収数	613 件（回収率　61.3%）
予算内訳	委託料　5,280,000 円 （北広島市高齢者保健福祉計画・第 9 期介護保険事業計画策定業務委託の一部であり、製本費等含む）	費用内訳	委託料　2,332,000　円 （北広島市高齢者保健福祉計画・第 9 期介護保険事業計画策定業務委託の一部であり、製本費等含む）

■その他

予定		結果	

4　事業実施前の市民参加推進会議の評価、意見を受けての担当課での対応

【市民参加推進会議】	【担当課】
【評価の視点】 ○市民参加の方法、組み合わせ、実施時期 ○市民参加の目的と目標値 ○参加しやすい工夫 ○市民意見の取り扱い ○その他（特記事項） 【評価結果】 ☑適切である　・　□概ね適切である　・　□適切でない	【評価を受けての対応】

5　目的の達成状況（総合評価欄に記入のうえ、該当箇所に☑をして達成状況等を記入してください。）

【総合評価】
アンケート調査、保健福祉計画検討委員会高齢福祉部会、パブリックコメントの様々な方法で市民意見を聞き、市民意見を反映した計画を策定することができた。

【個別評価（具体的に行った工夫、市民の意見の取り扱いなど）】

☑審議会等
第 8 期介護保険事業計画の評価と課題について議論していただき、実態調査結果を踏まえた上で第 9 期介護保険事業計画策定に向けて、様々な立場から意見をいただいた。

□市民説明会等

☑パブリックコメント
31 日間の募集を実施したが、意見はなかったため、計画には取り入れなかった。

☑アンケート調査
要支援・要介護認定者の実態を把握し、その後の審議会や計画策定上の基礎資料とすることができた。回収率については、61.3%と予定よりも 8.7 ポイントとやや下回った。

□その他（　　）

6　市民参加推進会議の事後評価

【評価の視点】

○市民参加の方法、組み合わせ、実施時期

○市民参加の目的と目標値

○参加しやすい工夫

○市民意見の取り扱い

○その他（特記事項）

【評価結果】☑適切である　・　□概ね適切である　・　□適切でない

令和５年度（2023 年度）　市民参加実施予定・実施状況評価調書

整理番号	7	事業名	北広島市国民健康保険税条例の一部改正
部課名	保健福祉部　保険年金課	対象事業等の区分	(5)市税の税率の引上げを目的として行う条例の制定、改正又は廃止

１　事業概要

概　要	平成 30 年度から都道府県が財政運営の主体となる新しい国民健康保険制度が始まり、各市町村は北海道が示す市町村ごとの標準保険料率を参考に国民健康保険税率を決定することとなるため、国民健康保険税率改定に伴う、北広島市国民健康保険税条例の一部改正を行う。

２　事業に対し実施する市民参加手続き（実施する（した）時期に〇をつけてください。）

実施する市民参加の手法（実施する手法を☑してください。）	実施時期		
	過年度実施済	**当年度**	次年度以降
☑ 審議会等	〇	〇	〇
☐ 市民説明会等			
☑ パブリックコメント	〇	〇	〇
☐ アンケート調査			
☐ その他（　　）			

実施概要	北海道が決定する「国民健康保険事業費納付金」を納付するため、北海道から示される市町村ごとの「標準保険料率」を基に、毎年、国民健康保険税率等の見直しを行う。被保険者や保険医、公益を代表する委員等で構成された国民健康保険運営協議会において審議した後、税率改正案についてパブリックコメントを行い、広く市民の意見を聞く。

３　当年度実施する市民参加方法

■審議会等（当該事業に関する審議をした回についてのみ記入してください。）

予　定				結　果				
会議等の名称	北広島市国民健康保険運営協議会			会議等の名称	北広島市国民健康保険運営協議会			
開催時期	令和５年８月～令和６年３月			開催時期	令和５年９月・12 月,令和６年１月・３月			
開催日	平日	開催時間帯	18 時から	開催日	平日	開催時間帯	18 時から	
回数	４回			回数	４回			
委員人数	７人			委員人数	７人	出席率	86％	
委員構成内訳	公募市民　２人 団体代表者　２人 学識経験者　２人 その他　１人			委員構成内訳	北広島市国民健康保険条例に規定する委員構成により選定 公募市民　２人 団体代表者　２人（商工会、社会福祉協議会推薦） 学識経験者　２人（医師） その他　１人（被用者保険代表）			
公募の時期	令和　４　年　６　月募集 （任期：R4.8.1～R7.7.31）			公募時期	令和４年６月募集(任期:R4.8.1～R7.7.31)			
				公募枠	２人	応募者数	２人	結果　２人
公募委員の選考方法	応募動機と国保についてのレポートを提出してもらい、選考する。			公募委員の選考方法	応募動機と国保についてのレポートを提出してもらい、選考する。			
会議の公開	☑公開　☐非公開			会議の公開	☑公開　☐非公開	傍聴人数	１人	
開催日等周知方法	☐広報　☑HP　☐担当課窓口　☐出先機関窓口 ☐ポスター　☐その他（　　）			開催日等周知方法	☐広報　☑HP　☐担当課窓口　☐出先機関窓口 ☐ポスター　☐その他（　　）			
予算内訳	委員報酬 168,000 円　交通費 12,904　円			費用内訳	委員報酬　144,000 円　交通費　9,604 円			

■市民説明会等（該当箇所に☑をしてください。）

予　定				結　果			
開催時期		開催時間帯		開催日		開催時間	
開催内容	□市民説明会　□ワークショップ　□市民フォーラム □その他			開催内容	□市民説明会　□ワークショップ　□市民フォーラム □その他		
回数	回			回数	回		
場所				場所			
参加人数	人			参加人数	人		
対象者				参加内訳			
周知方法	□広報　□HP　□担当課窓口　□出先機関窓口 □ポスター　□その他（対象者に通知）			周知方法	□広報　□HP　□担当課窓口　□出先機関窓口 □ポスター　□その他（　　）		
予算内訳	円			費用内訳	円		

■パブリックコメント（該当箇所に☑をしてください。）

予　定		結　果	
意見提出時期	令和６年２月１日～令和６年２月 20 日	意見提出期間	令和６年２月１日～2 月 20 日
日数	20 日	日数	20 日
周知方法	☑広報　☑HP　☑担当課窓口　☑出先機関等行政資料コーナー　□ポスター　□その他（　　）	周知方法	☑広報　☑HP　☑担当課窓口　☑出先機関等行政資料コーナー　□ポスター　□その他（　　）
実施にあたり工夫すること		提出結果	０件、　０人
		意見の取り扱い	○意見を反映し、案を修正した ○案は修正しなかった ○その他（感想、案件以外への意見等）
結果の公表時期	令和６年３月	結果の公表時期	令和６年２月

■アンケート調査

予　定		結　果	
調査方法		調査方法	
実施時期	令和　年　月～　令和　年　月	実施時期	令和　年　月　日～令和　年　月　日
実施回数	回	実施回数	回
対象者		対象者	
配布数	件	配布数	件
回収数	件（回収率　　％）	回収数	件（回収率　　％）
予算内訳	円	費用内訳	円

■その他

予定		結果	

４　事業実施前の市民参加推進会議の評価、意見を受けての担当課での対応

【市民参加推進会議】	【担当課】
【評価の視点】 ○市民参加の方法、組み合わせ、実施時期 ○市民参加の目的と目標値 ○参加しやすい工夫 ○市民意見の取り扱い ○その他（特記事項） 【評価結果】 ☑適切である　・　□概ね適切である　・　□適切でない	【評価を受けての対応】

５　目的の達成状況（総合評価欄に記入のうえ、該当箇所に☑をして達成状況等を記入してください。）

【総合評価】
対象者に対し、広報・HP・担当窓口・出先機関等にて、パブリックコメントの実施を通知するなど、広く意見を求めたが意見はなかった。

【個別評価（具体的に行った工夫、市民の意見の取り扱いなど）】
☑審議会等
施策の推進に対して、様々な立場から意見をいただいた。
□市民説明会等

☑パブリックコメント
分かりやすい資料作りに務めた。

□アンケート調査

□その他（　　）

６　市民参加推進会議の事後評価

【評価の視点】
○市民参加の方法、組み合わせ、実施時期
○市民参加の目的と目標値
○参加しやすい工夫
○市民意見の取り扱い
○その他（特記事項）

【評価結果】☑適切である　・　□概ね適切である　・　□適切でない

令和５年度（2023 年度）　市民参加実施予定・実施状況評価調書

整理番号	8	事業名	北広島市国民健康保険第３期データヘルス計画・第４期特定健康診査等実施計画
部課名	保健福祉部保険年金課 健康推進課	対象事業等の区分	(1)市の基本構想、基本計画その他市の基本的な事項を定める計画の策定又は変更

１　事業概要

概　要	高齢者の医療の確保に関する法律及び国民健康保険法に基づき、国民健康保険被保険者の健康増進を図るため、特定健診の結果やレセプトデータ等を活用して、効果的・効率的な保健事業を実施するための計画で、特定健診等実施計画と一体的に策定する。

２　事業に対し実施する市民参加手続き（実施する（した）時期に〇をつけてください。）

実施する市民参加の手法 （実施する手法を☑してください。）	実　施　時　期		
	過年度実施済	当年度	次年度以降
☑ 審議会等		〇	
☐ 市民説明会等			
☑ パブリックコメント		〇	
☐ アンケート調査			
☐ その他（　　）			
実施概要	北広島市国民健康保険第３期データヘルス計画・第４期特定健康診査等実施計画策定のため、有識者や関係者、市民等による様々な視点からの意見を反映させるための運営協議会を開催するとともに、パブリックコメントを行い広く市民の意見を聞く。		

３　当年度実施する市民参加方法

■審議会等（当該事業に関する審議をした回についてのみ記入してください。）

予　定				結　果				
会議等の名称	北広島市国民健康保険運営協議会			会議等の名称	北広島市国民健康保険運営協議会			
開催時期	令和５年８月～令和６年３月			開催時期	令和５年 12 月１日、令和６年１月 24 日			
開催日	平日	開催時間帯	夜間	開催日	平日	開催時間帯	夜間	
回数	４回			回数	２回			
委員人数	７人			委員人数	７人	出席率	75％	
員構成内訳	公募市民　２人 団体代表者　２人 学識経験者　２人 その他　１人			委員構成内訳	北広島市国民健康保険条例に規定する委員構成により選定 公募市民　２人 団体代表者　２人（商工会、社会福祉協議会推薦） 学識経験者　２人（医師） その他　１人（被用者保険代表）			
公募の時期	令和４年６月募集 （任期：R4.8.1～R7.7.31）			公募時期	令和４年６月募集			
				公募枠	２人	応募者数	２人	結果　２人
公募委員の選考方法	応募動機及び国保についてのレポートにより選考			公募委員の選考方法	応募動機及び国保についてのレポートにより選考			
会議の公開	■公開　☐非公開			会議の公開	■公開　☐非公開	傍聴人数	０人	
開催日等周知方法	☐広報　■HP　☐担当課窓口　☐出先機関窓口 ☐ポスター　☐その他（　　）			開催日等周知方法	☐広報　■HP　☐担当課窓口　☐出先機関窓口 ☐ポスター　☐その他（　　）			
予算内訳	委員報酬　168,000 円　　交通費　12,904 円			費用内訳	委員報酬　66,000 円　交通費　3,892 円			

■市民説明会等（該当箇所に☑をしてください。）

予　定				結　果			
開催時期		開催時間帯		開催日		開催時間	
開催内容	□市民説明会　□ワークショップ　□市民フォーラム □その他			開催内容	□市民説明会　□ワークショップ　□市民フォーラム □その他		
回数	回			回数	回		
場所				場所			
参加人数	人			参加人数	人		
対象者				参加内訳			
周知方法	□広報　□HP　□担当課窓口　□出先機関窓口 □ポスター　□その他（対象者に通知）			周知方法	□広報　□HP　□担当課窓口　□出先機関窓口 □ポスター　□その他（　　）		
予算内訳	円			費用内訳	円		

■パブリックコメント（該当箇所に☑をしてください。）

予　定		結　果	
意見提出時期	令和 6 年 1 月 30 日～2 月 28 日	意見提出期間	令和 5 年 12 月 20 日～令和 6 年 1 月 19 日
日数	30 日間	日数	30 日間
周知方法	☑広報　☑HP　☑担当課窓口　☑出先機関等行政資料コーナー　□ポスター　□その他（　　）	周知方法	☑広報　☑HP　☑担当課窓口　☑出先機関等行政資料コーナー　□ポスター　□その他（　　）
実施にあたり工夫すること		提出結果	0 件、　0 人
		意見の取り扱い	○意見を反映し、案を修正した ●案は修正しなかった ○その他（感想、案件以外への意見等）
結果の公表時期	令和 6 年 3 月	結果の公表時期	令和 6 年 3 月

■アンケート調査

予　定		結　果	
調査方法		調査方法	
実施時期	令和　年　月～　令和　年　月	実施時期	令和　年　月　日～令和　年　月　日
実施回数	回	実施回数	回
対象者		対象者	
配布数	件	配布数	件
回収数	件（回収率　　%）	回収数	件（回収率　　%）
予算内訳	円	費用内訳	円

■その他

予定		結果	

４　事業実施前の市民参加推進会議の評価、意見を受けての担当課での対応

【市民参加推進会議】	【担当課】
【評価の視点】 ○市民参加の方法、組み合わせ、実施時期 ○市民参加の目的と目標値 ○参加しやすい工夫 ○市民意見の取り扱い ○その他（特記事項） 【評価結果】 ☑適切である　・　□概ね適切である　・　□適切でない	【評価を受けての対応】

５　目的の達成状況（総合評価欄に記入のうえ、該当箇所に☑をして達成状況等を記入してください。）

【総合評価】
北広島市国民健康保険運営協議会、パブリックコメントの様々な方法で市民意見を聞き、市民意見を反映した計画を策定することができた。

【個別評価（具体的に行った工夫、市民の意見の取り扱いなど）】
☑審議会等
課題やこれまでの取組みに関する評価について議論していただき、今後の施策の推進に対して、様々な立場から意見をいただいた。
□市民説明会等

☑パブリックコメント
わかりやすい資料作りに努めた。
□アンケート調査

□その他（　　）

６　市民参加推進会議の事後評価

【評価の視点】
○市民参加の方法、組み合わせ、実施時期
○市民参加の目的と目標値
○参加しやすい工夫
○市民意見の取り扱い
○その他（特記事項）

【評価結果】☑適切である　・　□概ね適切である　・　□適切でない

令和５年度（2023 年度）　市民参加実施予定・実施状況評価調書

整理番号	9	事業名	北広島市こども計画の策定（旧　第３期子ども・子育て支援プランの策定）
部課名	子育て支援部子ども家庭課	対象事業等の区分	(1)市の基本構想、基本計画その他市の基本的な事項を定める計画の策定又は変更

１　事業概要

概　要	国が策定した「こども大綱」及び、北海道が策定するこども計画を勘案し、現行の「北広島市子ども・子育て支援プラン」と「北広島市子どもの権利に関する推進計画」を統合した「北広島市こども計画」を策定する。

２　事業に対し実施する市民参加手続き（実施する（した）時期に〇をつけてください。）

実施する市民参加の手法（実施する手法を☑してください。）	実　施　時　期		
	過年度実施済	当年度	次年度以降
☑ 審議会等		○	○
☐ 市民説明会等			
☑ パブリックコメント			○
☑ アンケート調査		○	
☑ その他（高校生オブザーバー）		○	
実施概要	北広島市こども計画は、こどもや若者の状況やニーズをより的確に踏まえた実効性のある計画とするため、計画の対象となるこどもや子育て当事者等の意見を幅広く聴取して反映させることが必要である。そのため、こどもや保護者へのアンケートの実施や、公募市民を含む「こども施策審議会」による審議とともに、幅広い市民から意見を求める「パブリックコメント」の市民参加手続きを行う。		

３　事業に対し当年度実施する市民参加方法

■審議会等（該当箇所に☑をしてください。）

予　定				結　果					
会議等の名称				会議等の名称	北広島市こども施策審議会（旧　北広島市子ども・子育て会議）				
開催時期				開催時期	令和５年６月、11 月、12 月、令和６年３月				
開催日		開催時間帯			平日	開催時間帯	18 時 30 分～		
回数	回			回数	４回				
委員人数	人			委員人数	10 人	出席率	100％		
委員構成内訳	公募市民　人 団体代表者　人（　） 学識経験者　人（　） その他　人（　）			委員構成内訳	北広島市こども施策審議会設置条例に規定する委員構成により選定 公募市民　２人 団体代表　７人（児童養護施設、学校、幼稚園、認定こども園、学童クラブ、子育て支援団体） 学識経験者　１人（大学理事長　） その他　人（　）				
公募の時期	令和　年　月募集 （任期：R●.●.●～R●.●.●）			公募時期	令和５年度募集済み				
				公募枠	２人	応募者数	３人	結果	２人

委員の選考方法		委員の選考方法	公募市民については、男女比、年齢構成、市の子ども・子育て施策への意見、他の審議会等の委員との兼職状況等を考慮して選考。		
会議の公開	□公開　□非公開	会議の公開	☑公開　□非公開	傍聴人数	1 人
開催日等周知方法	□広報　□ HP　□担当課窓口　□出先機関窓口 □ポスター　□その他（　　）	開催日等周知方法	□広報　☑ HP　□担当課窓口　□出先機関窓口 □ポスター　□その他（　　）		
予算内訳	委員報酬等　　円　交通費　　円	費用内訳	委員報酬　186,000 円　　交通費　8,902 円		

■市民説明会等（該当箇所に☑をしてください。）

予　定				結　果			
開催時期		開催時間帯		開催日		開催時間	
開催内容	□市民説明会 □ワークショップ □市民フォーラム □その他（　　）			開催内容	□市民説明会　□ワークショップ □市民フォーラム □その他（　　）		
回数	回			回数	回		
場所				場所			
参加人数	人			参加人数	人		
対象者				参加内訳			
周知方法	□広報　□HP　□担当課窓口　□出先機関窓口 □ポスター　□その他（　）			周知方法	□広報　□HP　□担当課窓口　□出先機関窓口 □ポスター　□その他（　）		
予算内訳				費用内訳			

■パブリックコメント（該当箇所に☑をしてください。）

予　定		結　果	
意見提出時期		意見提出期間	
日数	日間	日数	日間
周知方法	□広報　□HP　□担当課窓口　□出先機関窓口 □ポスター　□その他（　）	周知方法	□広報　□HP　□担当課窓口　□出先機関窓口 □ポスター　□その他（　）
実施にあたり工夫すること		提出結果	件、　人
		意見の取り扱い	□意見を反映し、案を修正した □案は修正しなかった □その他（感想、案件以外への意見等）
結果の公表時期	令和　年　月	結果の公表時期	令和　年　月

■アンケート調査

予　定		結　果	
調査方法		調査方法	インターネット回答及び郵送での回答
実施時期	令和　年　月～令和　年　月	実施時期	令和 6 年 2 月 1 日～令和 6 年 2 月 29 日
実施回数	回	実施回数	2 回
対象者		対象者	①【ニーズ調査】市内在住の未就学及び小学生の保護者から無作為抽出。 ②【子どもの生活実態調査】小学 5 年生、中学 2 年生、高校 2 年生の子及び保護者から無作為抽出。
配布数	件	配布数	①1,000 件 ②3,494 件
回収数	件（回収率　　%）	回収数	①385 件（回収率 38.5%） ②1,020 件（回収率 29.2%）
予算内訳		費用内訳	委託料 2,167,000 円

■その他（こども施策審議会の高校生オブザーバー）

予定		結果	
		実施方法	市内の高校生２名が、こども施策審議会の録画映像を視聴し、意見・感想を記入。

４　事業実施前の市民参加推進会議の評価、意見を受けての担当課での対応

【市民参加推進会議】	【担当課】
【評価の視点】 ○市民参加の方法、組み合わせ、実施時期 ○市民参加の目的と目標値 ○参加しやすい工夫 ○市民意見の取り扱い ○その他（特記事項） 【評価結果】□適切である　・　□概ね適切である　・　□適切でない	【評価を受けての対応】

５　目的の達成状況（総合評価欄に記入のうえ、該当箇所に☑をして達成状況等を記入してください。）

【総合評価】
　アンケート調査やこども施策審議会（子ども・子育て会議）等の様々な方法で市民の意見を聞くことができたため、これを踏まえて市民意見を反映したこども計画を令和６年度中に策定する。

【個別評価（具体的に行った工夫、市民の意見の取り扱いなど）】
☑審議会等
　子ども・子育て支援プランに関する事業や子育て施策について議論いただき、今後の施策の推進に対して、様々な立場から意見をいただいた。
□市民説明会等

□パブリックコメント

☑アンケート調査
　市民の子育てにかかるニーズや、生活の実態を調査し、こども計画の基礎資料とする。インターネット回答のほか、アンケート用紙での回答もできるようにし、回答率の向上に努めた。
☑その他（こども施策審議会の高校生オブザーバー）
　高校生２名から子ども施策にかかる意見・感想をいただいた。

６　市民参加推進会議の事後評価

【評価の視点】
○市民参加の方法、組み合わせ、実施時期
○市民参加の目的と目標値
○参加しやすい工夫
○市民意見の取り扱い
○その他（特記事項）

【評価結果】☑適切である　・　□概ね適切である　・　□適切でない

令和５年度（2023 年度）　市民参加実施予定・実施状況評価調書

整理番号	11	事業名	北広島市営駐車場管理運営事業経営戦略の策定
部課名	建設部　土木事務所	対象事業等の区分	(1)市の基本構想、基本計画その他市の基本的な事項を定める計画の策定又は変更

１　事業概要

概　要	市が指定管理により運営している有料駐車場の管理運営事業に関して、総務省から求められている経営戦略を策定します。

２　事業に対し実施する市民参加手続き（実施する（した）時期に〇をつけてください。）

実施する市民参加の手法 （実施する手法を☑してください。）	実　施　時　期		
	過年度実施済	当年度	次年度以降
☐ 審議会等			
☐ 市民説明会等			
☑ パブリックコメント		〇	
☐ アンケート調査			
☐ その他（　　）			
実施概要	当該事業は、市営駐車場の管理運営方針や利用料にかかる内容を含む経営戦略の策定であり、市民生活にも影響するものであるため、広く市民の意見を集約し戦略策定の参考とするためパブリックコメントを実施した。		

３　事業に対し当年度実施する市民参加方法

■審議会等（該当箇所に☑をしてください。）

予　定				結　果					
会議等の名称				会議等の名称					
開催時期				開催時期					
開催日		開催時間帯		開催日		開催時間帯			
回数	回			回数	回				
委員人数				委員人数					
委員構成内訳	公募市民　人 団体代表者　人 学識経験者　人 その他　人			委員構成内訳	公募市民　人 団体代表　人（　　） 学識経験者　人（　　） その他　人（　　）				
公募の時期	令和　年　月募集 （任期：R●.●.●～R●.●.●）			公募時期					
				公募枠	人	応募者数	人	結果	人
公募委員の選考方法				公募委員の選考方法					
会議の公開	☐公開　☐非公開			会議の公開	☐公開　☐非公開		傍聴人数	人	
開催日等周知方法	☐広報　☐HP　☐担当課窓口　☐出先機関窓口 ☐ポスター　☐その他（　）			開催日等周知方法	☐広報　☐HP　☐担当課窓口　☐出先機関窓口 ☐ポスター　☐その他（　）				
予算内訳	委員報酬　円　交通費　円			費用内訳	委員報酬　交通費				

■市民説明会等（該当箇所に☑をしてください。）

予　定				結　果			
開催時期		開催時間帯		開催日		開催時間	
開催内容	□市民説明会 □ワークショップ □市民フォーラム □その他（　　）			開催内容	□市民説明会 □ワークショップ □市民フォーラム □その他（　　）		
回数	回			回数	回		
場所				場所			
参加人数	人			参加人数	人		
対象者				参加内訳			
周知方法	□広報　□HP　□担当課窓口　□出先機関窓口 □ポスター　□その他（　）			周知方法	□広報　□HP　□担当課窓口　□出先機関窓口 □ポスター　□その他（　）		
予算内訳				費用内訳			

☑パブリックコメント（該当箇所に☑をしてください。）

予　定		結　果	
意見提出時期	令和５年８月１日～令和５年８月 30 日	意見提出期間	令和５年８月 15 日～令和５年９月 14 日
日数	30 日間	日数	30 日間
周知方法	☑広報　☑HP　☑担当課窓口　☑出先機関窓口 □ポスター　□その他（　）	周知方法	☑広報　☑HP　☑担当課窓口　□出先機関窓口 □ポスター　□その他（　）
実施にあたり工夫すること	・関係機関に対し、パブリックコメントの実施を通知するなど、周知を図る。	提出結果	１件、１人
		意見の取り扱い	☒意見を反映し、案を修正した □案は修正しなかった □その他（感想、案件以外への意見等）
結果の公表時期	令和５年９月	結果の公表時期	令和５年９月

■アンケート調査

予　定		結　果	
調査方法		調査方法	
実施時期	令和　年　月～令和　年　月	実施時期	令和　年　月　日～令和　年　月　日
実施回数	回	実施回数	回
対象者		対象者	
配布数	件	配布数	件
回収数	件（回収率　　％）	回収数	件（回収率　　％）
予算内訳		費用内訳	

■その他

予定		結果	

４　事業実施前の市民参加推進会議の評価、意見を受けての担当課での対応

【市民参加推進会議】	【担当課】
【評価の視点】 ○市民参加の方法、組み合わせ、実施時期 ○市民参加の目的と目標値 ○参加しやすい工夫 ○市民意見の取り扱い ○その他（特記事項） 【評価結果】☑適切である　・　□概ね適切である　・　□適切でない	【評価を受けての対応】

５　目的の達成状況（総合評価欄に記入のうえ、該当箇所に☑をして達成状況等を記入してください。）

【総合評価】
　パブリックコメント実施による意見を反映し、北広島市営駐車場の管理運営事業計画である経営戦略を策定できた。

【個別評価（具体的に行った工夫、市民の意見の取り扱いなど）】
□審議会等

□市民説明会等

☑パブリックコメント
　文言の修正に関する意見の提出があり、これを反映して文言を修正した。
□アンケート調査

□その他（　　）

６　市民参加推進会議の事後評価

【評価の視点】
○市民参加の方法、組み合わせ、実施時期
○市民参加の目的と目標値
○参加しやすい工夫
○市民意見の取り扱い
○その他（特記事項）

【評価結果】☑適切である　・　□概ね適切である　・　□適切でない

令和５年度（2023 年度）　市民参加実施予定・実施状況評価調書

整理番号	12	事業名	学校施設適正規模・適正配置検討事業
部課名	教育部　教育総務課	対象事業等の区分	(8)公共施設の設置に係る計画の策定、変更又は廃止

１　事業概要

概　要	小中学校の少人数化・単学級化及び学校施設の老朽化を踏まえ、学校施設の適正規模・適正配置に向け、多角的な視点から検討し、取組を実施する。

２　事業に対し実施する市民参加手続き（実施する（した）時期に〇をつけてください。）

実施する市民参加の手法（実施する手法を☑してください。）	実施時期		
	過年度実施済	当年度	次年度以降
☑ 審議会等	〇	〇	〇
☐ 市民説明会等	〇		〇
☐ パブリックコメント			〇
☐ アンケート調査	〇		〇
☐ その他（　　）	〇		

実施概要	小中学校の少人数化・単学級化及び学校施設の老朽化を踏まえ、今後の北広島市における学校施設の適正規模・適正配置に向け、多角的な視点から検討するべく、北広島市立学校適正配置等審議会を年４回開催した。

３　当年度実施する市民参加方法

■審議会等（当該事業に関する審議をした回についてのみ記入してください。）

予　定				結　果				
会議等の名称	北広島市立学校適正配置等審議会			会議等の名称	北広島市立学校適正配置等審議会			
開催時期	令和５年４月～令和６年３月			開催時期	令和５年４月～令和６年３月			
開催日	平日	開催時間帯	夜間	開催日	平日	開催時間帯	夜間	
回数	４回			回数	４回			
委員人数	14 人			委員人数	13 人	出席率	92.3%	
委員構成内訳	公募市民　１人 団体代表者　10 人 学識経験者　２人 その他　１人			委員構成内訳	北広島市立学校適正配置等審議会条例に規定する委員構成により選定 公募市民　　１人 団体代表者　10 人（市内小中学校校長、教頭、PTA） 学識経験者　２人（大学教授、大学講師）			
公募の時期	令和４年度募集済み （任期：R4.5.10～R5.5.31）			公募時期	令和５年度公募済み（任期 R5.6.1～R7.5.31）			
				公募枠	１人	応募者数	１人	結果　１人
公募委員の選考方法	男女比、年齢構成、地域構成、委員の在期年数、小・中学校に通う児童生徒との関わり及び他の審議会等の委員との兼職状況等を考慮して選考する。			公募委員の選考方法	男女比、年齢構成、地域構成、委員の在期年数、小・中学校に通う児童生徒との関わり及び他の審議会等の委員との兼職状況等を考慮して選考する。			
会議の公開	☑公開　☐非公開			会議の公開	☑公開　☐非公開	傍聴人数	１人	
開催日等周知方法	☐広報　☑HP　☑担当課窓口　☐出先機関窓口 ☐ポスター　☐その他（　　）			開催日等周知方法	☐広報　☑HP　☑担当課窓口　☐出先機関窓口 ☐ポスター　☐その他（　　）			
予算内訳	委員報酬　216,000 円　交通費　42,000 円			費用内訳	委員報酬　216,000 円　交通費　42,000 円			

■市民説明会等（該当箇所に☑をしてください。）

予　定				結　果			
開催時期	令和５年７月～	開催時間帯	夜間	開催日		開催時間	
開催内容	☑市民説明会　□ワークショップ　□市民フォーラム □その他			開催内容	□市民説明会　□ワークショップ　□市民フォーラム □その他		
回数	2～3 回			回数	回		
場所	未定			場所			
参加人数	未定			参加人数	人		
対象者	対象地域住民、保護者等			参加内訳			
周知方法	□広報　☑HP　☑担当課窓口　□出先機関窓口 □ポスター　☑その他（対象者に通知）			周知方法	□広報　□HP　□担当課窓口　□出先機関窓口 □ポスター　□その他（　　）		
予算内訳	－			費用内訳	円		

■パブリックコメント（該当箇所に☑をしてください。）

予　定		結　果	
意見提出時期	令和５年 12 月～令和６年１月	意見提出期間	
日数	30 日間	日数	日間
周知方法	☑広報　☑HP　☑担当課窓口　□出先機関等行政資料コーナー　□ポスター　☑その他（関係機関に通知）	周知方法	□広報　□HP　□担当課窓口　□出先機関等行政資料コーナー　□ポスター　□その他（　　）
実施にあたり工夫すること	・関係機関に対し、パブリックコメントの実施を通知するなど、周知を図る。 ・募集前に市民説明会を開催し、意見を出しやすい環境づくりに努める。	提出結果	件、　人
		意見の取り扱い	○意見を反映し、案を修正した ○案は修正しなかった ○その他（感想、案件以外への意見等）
結果の公表時期	令和６年２月	結果の公表時期	令和　年　月

■アンケート調査

予　定		結　果	
調査方法		調査方法	
実施時期	令和　年　月～令和　年　月	実施時期	令和　年　月　日～令和　年　月　日
実施回数	回	実施回数	回
対象者		対象者	
配布数	件	配布数	件
回収数	件（回収率　　%）	回収数	件（回収率　　%）
予算内訳		費用内訳	

■その他

予定		結果	

４　事業実施前の市民参加推進会議の評価、意見を受けての担当課での対応

【市民参加推進会議】	【担当課】
【評価の視点】 ○市民参加の方法、組み合わせ、実施時期 ○市民参加の目的と目標値 ○参加しやすい工夫 ○市民意見の取り扱い ○その他（特記事項） 【評価結果】 ☑適切である　・　□概ね適切である　・　□適切でない	【評価を受けての対応】

５　目的の達成状況（総合評価欄に記入のうえ、該当箇所に☑をして達成状況等を記入してください。）

【総合評価】

北広島市立学校適正配置等審議会を実施し、審議会での議論を踏まえ、「西部地区における今後の小・中学校については西部小学校を活用した施設一体型義務教育学校が望ましい」と答申を受けたことから、西部地区における義務教育学校の設置検討を進めていくこととした。

審議会等の実施について、北広島市教育委員会ニュース「To Be」を発行し、町内会回覧及び市ホームページに掲載し一般市民にも広く周知されるように配慮した。

また一方で、「西部地区を対象とした小・中学校の在り方について」の内容に係る市民説明会等を実施する予定だったが、審議会等での検討に期間を要したため、対象とする市民への説明会等の実施は令和６年度へと移行することとした。

【個別評価（具体的に行った工夫、市民の意見の取り扱いなど）】

☑審議会等

市民に対する周知方法等について意見をもらった。

☑市民説明会等

実施時期、実施内容等について改めて内部で検討し、令和６年度に実施することとした。

☑パブリックコメント

実施時期、実施内容等について改めて内部で検討し、令和６年度に実施することとした。

☑アンケート調査

実施時期、実施内容等について改めて内部で検討し、令和６年度に実施することとした。

□その他（　　）

６　市民参加推進会議の事後評価

【評価の視点】

○市民参加の方法、組み合わせ、実施時期

○市民参加の目的と目標値

○参加しやすい工夫

○市民意見の取り扱い

○その他（特記事項）

【評価結果】☑適切である　・　□概ね適切である　・　□適切でない

令和５年度（2023 年度）　市民参加実施予定・実施状況評価調書

整理番号	13 追加	事業名	北広島市景観条例の制定及び北広島市景観計画の策定
部課名	企画部　都市計画課	対象事業等の区分	(1) 市の基本構想、基本計画その他市の基本的な事項を定める計画の策定又は変更

１　事業概要

概　要	北広島市では、ボールパークの開業や駅西口周辺エリア活性化事業といった事業を契機に、これからの都市景観の在り方が関心の的となっています。また、カーボンニュートラルの実現など社会的な動きや、本市の良好な立地条件から、近年は太陽光発電施設をはじめ、郊外部の開発事業が増加傾向にあり、地元住民から自然景観との調和を望む声が寄せられ、高い関心事となっています。 こうした転換期を迎えた今、住民や事業者、行政の協働による良好な景観づくりに向け、目指す景観像の共有や良好な景観づくりの基準等を示すために、景観法に基づく景観計画を策定します。

２　事業に対し実施する市民参加手続き（実施する（した）時期に〇をつけてください。）

実施する市民参加の手法 （実施する手法を☑してください。）	実　施　時　期		
	過年度実施済	**当年度**	次年度以降
☑ 審議会等			〇
☑ 市民説明会等			〇
☑ パブリックコメント			〇
☑ アンケート調査		〇	
□ その他（　　）			

実施概要	景観計画の策定にあたり、北広島市の景観資源や景観特性、市民の景観に対する意識等を把握するため、アンケート調査を実施した。また、次年度において、幅広い市民、有識者、関係者からの意見を反映させるため、市民ワークショップや景観計画策定等検討委員会を実施する。策定した計画案については、パブリックコメントを実施する。

３　事業に対し当年度実施する市民参加方法　**※事前評価未実施**

■審議会等（該当箇所に☑をしてください。）

予　定				結　果					
会議等の名称				会議等の名称					
開催時期				開催時期					
開催日		開催時間帯				開催時間帯			
回数	回			回数	回				
委員人数	人			委員人数	人	出席率	%		
委員構成内訳	公募市民　人 団体代表者　人（　　） 学識経験者　人（　　） その他　人（　　）			委員構成内訳	公募市民　人 団体代表　人（　　） 学識経験者　人（　　） その他　人（　　）				
公募の時期	令和　　年　　月募集 （任期：R●.●.●～R●.●.●）			公募時期					
				公募枠	人	応募者数	人	結果	人
委員の選考方法				委員の選考方法					
会議の公開	□公開　□非公開			会議の公開	□公開　□非公開	傍聴人数	人		

開催日等 周知方法	□広報　□ HP　□担当課窓口　□出先機関窓口 □ポスター　□その他（　　）	開催日等 周知方法	□広報　□ HP　□担当課窓口　□出先機関窓口 □ポスター　□その他（　　）
予算内訳	委員報酬等　　円　交通費　　円	費用内訳	委員報酬　　円　　交通費　　円

■市民説明会等（該当箇所に☑をしてください。）

予　定				結　果			
開催時期		開催時間帯		開催日		開催時間	
開催内容	□市民説明会 □ワークショップ □市民フォーラム □その他（　　）			開催内容	□市民説明会　□ワークショップ □市民フォーラム □その他（　　）		
回数	回			回数	回		
場所				場所			
参加人数	人			参加人数	人		
対象者				参加内訳			
周知方法	□広報　□HP　□担当課窓口　□出先機関窓口 □ポスター　□その他（　）			周知方法	□広報　□HP　□担当課窓口　□出先機関窓口 □ポスター　□その他（　）		
予算内訳				費用内訳			

■パブリックコメント（該当箇所に☑をしてください。）

予　定		結　果	
意見提出 時期		意見提出 期間	
日数	日間	日数	日間
周知方法	□広報　□HP　□担当課窓口　□出先機関窓口 □ポスター　□その他（　）	周知方法	□広報　□HP　□担当課窓口　□出先機関窓口 □ポスター　□その他（　）
実施にあたり工夫すること		提出結果	件、　人
		意見の 取り扱い	□意見を反映し、案を修正した □案は修正しなかった □その他（感想、案件以外への意見等）
結果の 公表時期	令和　年　月	結果の 公表時期	令和　年　月

■アンケート調査

予　定		結　果	
調査方法		調査方法	①郵送及びインターネット回答 ②インターネット回答
実施時期	令和　年　月～令和　年　月	実施時期	①令和 5 年 12 月 4 日～令和 5 年 12 月 31 日 ②令和 5 年 12 月 11 日～令和 5 年 12 月 25 日
実施回数	回	実施回数	各 1 回
対象者		対象者	①市内在住の 18 歳以上から無作為抽出 ②市内全小学校 5 学年、市内全中学校 2 学年、市内公立高校 2 学年
配布数	件	配布数	①2,000 件 ②1,386 件
回収数	件（回収率　　%）	回収数	①717 件（回収率 35.85%） ②1,115 件（回収率 80.45%）
予算内訳		費用内訳	通信料 223,208 円、消耗品費 13,921 円

■その他

予定		結果	

4　事業実施前の市民参加推進会議の評価、意見を受けての担当課での対応

【市民参加推進会議】	【担当課】
【評価の視点】 ○市民参加の方法、組み合わせ、実施時期 ○市民参加の目的と目標値 ○参加しやすい工夫 ○市民意見の取り扱い ○その他（特記事項） 【評価結果】□適切である　・　□概ね適切である　・　□適切でない	【評価を受けての対応】

5　目的の達成状況（総合評価欄に記入のうえ、該当箇所に☑をして達成状況等を記入してください。）

【総合評価】
　アンケートの実施により、当市の景観資源や景観特性、市民の景観に対する意識等を把握することができた。

【個別評価（具体的に行った工夫、市民の意見の取り扱いなど）】
□審議会等

□市民説明会等

□パブリックコメント

☑アンケート調査
　18 歳以上の市民を対象にしたアンケートに加え、市内の小・中・高校生を対象にしたアンケートを行い、幅広い年代の市民から意見を聴取することができた。
□その他（　　）

6　市民参加推進会議の事後評価

【評価の視点】

○市民参加の方法、組み合わせ、実施時期

○市民参加の目的と目標値

○参加しやすい工夫

○市民意見の取り扱い

○その他（特記事項）

【評価結果】☑適切である　・　□概ね適切である　・　□適切でない